

校報 あずまね

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 角谷 隆章

2025年7月25日（金）

～伝え合い 響き合い 高め合う～

紫波町立紫波第三中学校 学校だより No.5

【あずまネカフェ&職場体験学習】

7月3日に1年生で「あずまネカフェ」、同じく3日から4日にかけて2年生で「職場体験学習」が行われました。「あずまネカフェ」は紫波町で働いている方々を本校にお招きし、働くことの意義や目的を直接話していただいたあと、生徒が疑問に思ったことを質問し、自らの考えを深めていく学習です。「職場体験学習」は文字通り、地域の職場を訪問し、実際に仕事を体験させていただく中で生徒自身が働くことについて身をもって体験する学習です。

1年生の学年通信から、はじめて「あずまネカフェ」に臨んだ生徒の感想をいくつか紹介します。

「介護の仕事は、体の不自由な人のサポートも大事だけど、心を支えることが一番大事だということがわかりました。タブレットや介護ロボットなども利用して働きやすい環境になっていることに驚きました。信頼関係や人間関係を大切にして生活していきたいです」

「慌てず、焦らず、無理をしないことを大事にしたいです。自分のなりたいものへの気持ちを持ち続けることや、先生や親のいうことをしっかり聞くことを大事にしたいです」



あずまネカフェは‘暑さ対策’として、お話しは教室で聞き、全体シェアリングのみ体育館で行いました



15の事業所にご協力いただきました。ありがとうございました。生徒は皆真剣です

【終業式でこんなことを話しました～校長の話から～】

昇降口に生徒会の月別目標が掲示されています。先月の目標は「文武両道に励もう」でした。

「文武両道」。みなさんはこの言葉の意味をどう捉えているのでしょうか？ 調べると、本来の意味は「武士に求められた、学問と武道の両方を修めること」ですが、現代的な意味は「学業とスポーツ、または学業と文化活動など、異なる分野の両方を頑張ること」とあります。どうでしょうか。皆さんが考えたこととあっていましたでしょうか？ 今、私は、生徒会が「文武両道に励もう」という目標を掲げているからには、どれだけの人が学業とスポーツや文化活動に励んでいたのかということに思いを巡らせていました。

実は、私は、この言葉にはもう一つ、奥深い意味があると考えています。例えば、3年生の多くは数か月後に受験をします。そのための本格的な勉強や準備はこれから始まります。巷では「夏休みが勝負」とも言われています。運動部のみなさんは、県中総体が終わり、部活動に一区切りがつかしました。多くの人は部活動をしません。ということは、異なる分野の両方を頑張ることが出来ない＝（イコール）文武両道が出来ないということになってしまいます。しかしながら、それは違います。進路実現という目標を掲げ、取り組むこれからの数か月、部活動で頑張ってきたその力が活かされるのです。それは、体力であり、精神力であり、集中力であり、粘り強さであり、それらを進路実現に向けて活かしていくのです。文武両道には、ただ単に両方を頑張るだけではなく、それぞれの分野で得た経験や知識がもう一方の分野にも良い影響を与えるという意味があるのです。

1、2年生のみなさんも、例えば、授業で得た知識を試合での戦略や体力アップ等に活かすことができます。これも文武両道と言えるでしょう。そして、文武両道に励むことでさまざまな分野に興味を持ち、自分の可能性を広げることにもつながります。どちらか一方に偏ることなく両方を頑張ることで自己成長を促すこともできます。

「文武両道に励もう」。これはこれからずっと続けていくべきことです。今回、生徒会が目標として掲げてくれたので、一つのきっかけとして、この話をしましたが、三中生は総じて文武両道に励みながら1学期を過ごしました。運動会をはじめとする多くの取組で仲間と協力して頑張り、成果をあげました。もちろん、普段の授業には、真剣に、そして意欲的に取り組んでいます。きっと多くの人が成長を感じた1学期になったと思います。

明日から夏休みです。ここでみなさんに一つお願いがあります。昨年も話しました。それは、「夏休み中、広島原爆の日、長崎原爆の日、敗戦の日があります。新聞でも、テレビでも、雑誌でも、本でも、ネットでも、何でもいい、少しの時間でもいいから、『戦争』についてじっくり考える時間をつくってください。今年は戦後80年。80年前の日本を思い浮かべ、今の暮らしを考えてみてください」ということです。今後の日本をどうすべきか。そのためには、自分の国で起きたことを少しでも知ることが大切です。では、交通事故に気をつけ、健康管理に気を配り、やろうと決めたことをしっかりやり切って、満足できる夏休みを送ってください。